

地震・津波について 知ろう

震度と揺れ等の状況

南海トラフ巨大地震が発生したとき、田辺市では最大震度7が予想されています。



津波に関する警報と注意報

津波による災害の発生が予想される場合には、気象庁より「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」が発表されます。

	発表される津波の高さ	るべき行動	想定される被害
大津波警報 (特別警報に位置付け)	数値での発表(津波の高さを予想する区分) 目地図の場合の発表		
10m超(10m+予想高さ)	巨大	海岸や河川や川のない人は、たどり着くまで安全な場所へ避難して下さい。 津波は繰り返し戻ってくるので、津波警報が解除されても安全な場所への避難を続けて下さい。	木造家屋が全壊・流失します。 木造家屋による流れに巻き込まれます。
10m未満(予想高さ10m)			
5m未満(予想高さ5m)			
津波警報	3m未満(予想高さ3m)	ここから安全と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう!	●海拔の低いところでは津波による海水被災が発生します。 ●人は津波による流れに巻き込まれます。
津波注意報	1m未満(予想高さ1m)	(表記しない)	海の中には人は速い流れに巻き込まれます。 津波は海水を吸いこむので、海水と一緒に流れに巻き込まれます。

●震源が陸地に近いと津波警報が間に合わないことがあります。「握ったら避難」を徹底しましょう。●津波の高さが30cm未満でも津波の高さが30cm未満でも津波警報が発せられることがあります。●予想される津波の高さは、通常は5段階の値で発表されます。ただし、地震の規模(マグニチュード)が8を超えるような巨大地震の場合、最初に発表する大津波警報や津波警報では、予想される津波の高さを「巨大」と「高い」という言葉で発表され、非常事態であることを伝えられます。

一人ひとりが行う 自分自身の防災活動

自助・共助・公助

防災・減災のキーワードとして、「自助」「共助」「公助」という言葉がよく使われます。自助とは「自分の身は自分で守る」こと、共助とは「家族・近所でお互いに助け合い地域を守る」ことを指します。また、公助とは「公的機関からの救助や支援」を指しています。災害の発生を完全に予見し防ぐことはできませんが、自助・共助・公助が連携し、効果的に機能することで、被害を減らすことが可能となります。

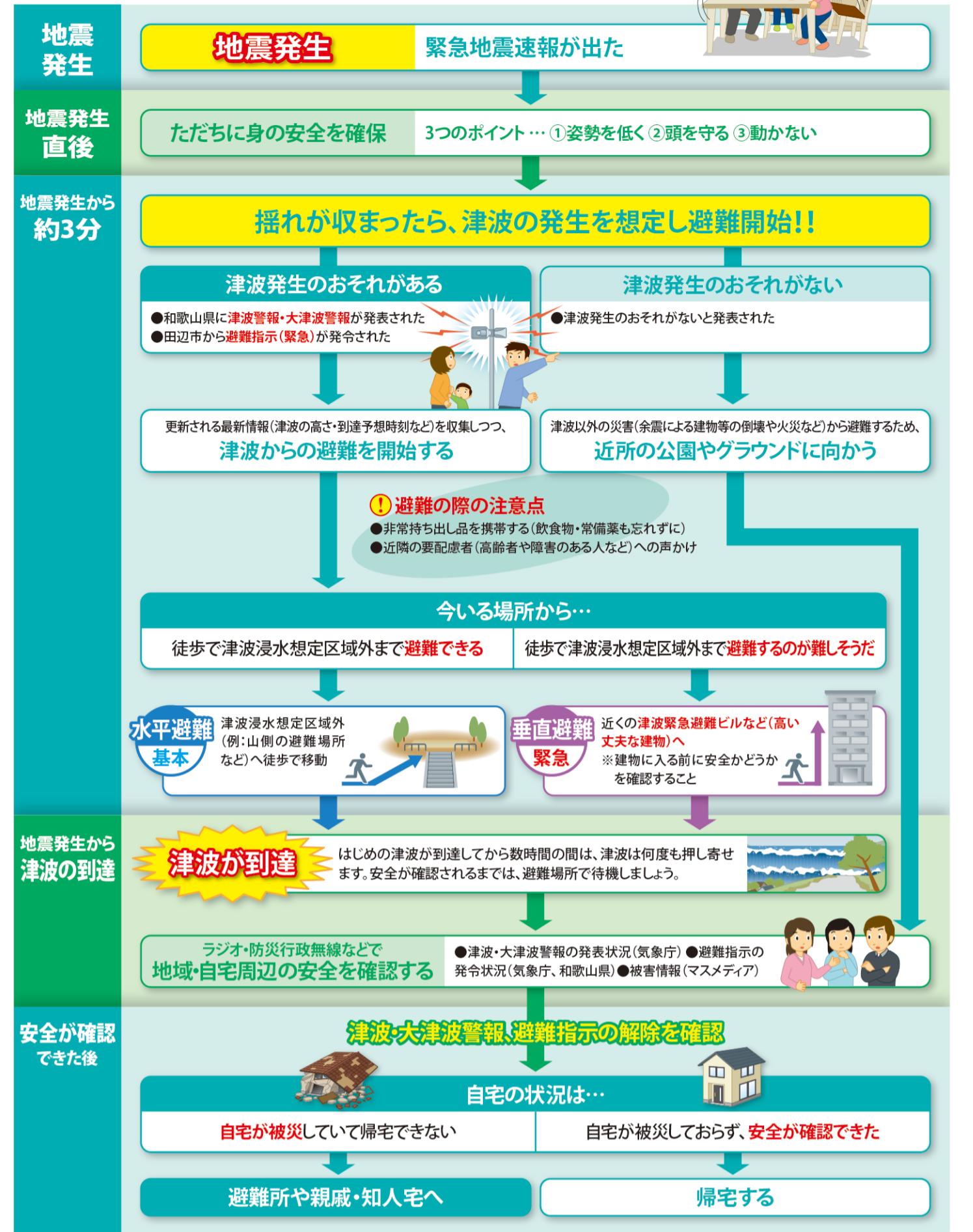


今すぐできる地震対策

地震によって建物が倒壊しない場合でも、大きな家具の転倒やガラスの飛散などにより、ケガをしたり、閉じ込められたりするおそれがあるので、今すぐ地震対策をしましょう。



地震・津波から 身を守るポイント



避難経路を想定して マイマップを作ろう

マイマップの作り方

地震はいつ起こるかわかりません。いろんな場面において地震や津波が起きた場合に備えて、家族みんなの避難先(裏山、高台、公園など)時に身を守るために緊急避難する場所を確認しておきましょう。また、表面の津波避難マップに、自分が避難する場合を想定した避難情報を書き加えて、より具体的な避難行動イメージできるようにしておきましょう。

マイマップの記入例(表面:津波避難マップ)

①自宅や学校、勤務先等をチェック

まず、津波避難マップであなたの自宅や学校、勤務先を探して、予測されている被害の有無(津波浸水想定区域に入っている、危険箇所がある等)を確かめましょう。

津波の浸水範囲にかかる道路や橋、地下道、狭い道路は避けるコースを設定しましょう。



②避難先と避難経路を決める

次に、目標とする避難先を確認して、避難先までの経路を考えておきましょう。

津波の浸水範囲にかかる道路や橋、地下道、狭い道路は避けるコースを設定しましょう。

日頃からの備えが大切 非常持ち出し品・連絡方法など

非常持ち出し品の準備

災害が発生したときは、すぐに避難しなければいけません。避難する場合に備えて、リュックサックなどに必需品をまとめ、持ち出しやすい場所に保管しておきましょう。

食料	救急・安全対策	貴重品
<input type="checkbox"/> 飲料水(1人1日2~3リットルを目安) <input type="checkbox"/> 非常食(缶詰、乾パン、レトルト食品など) <input type="checkbox"/> 携帯食(チョコレート、キャンディーなど) <input type="checkbox"/> ミルクと哺乳瓶(赤ちゃんがいる場合) <input type="checkbox"/> アレルギー対応食品(アレルギーがある場合)	<input type="checkbox"/> 常備薬(胃腸薬、かぜ薬など) <input type="checkbox"/> 包帯、ガーゼ、はんそうこう <input type="checkbox"/> 損傷、消毒薬 <input type="checkbox"/> 持病のある方の薬 <input type="checkbox"/> ヘルメット、防災ズキン <input type="checkbox"/> ホイップル <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> 消毒液	<input type="checkbox"/> 現金(小銭も必要) <input type="checkbox"/> 預金通帳、印鑑 <input type="checkbox"/> クレジットカード類 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 免許証など(身分を証明するもの)

「循環備蓄(ローリングストック)」を心がけましょう

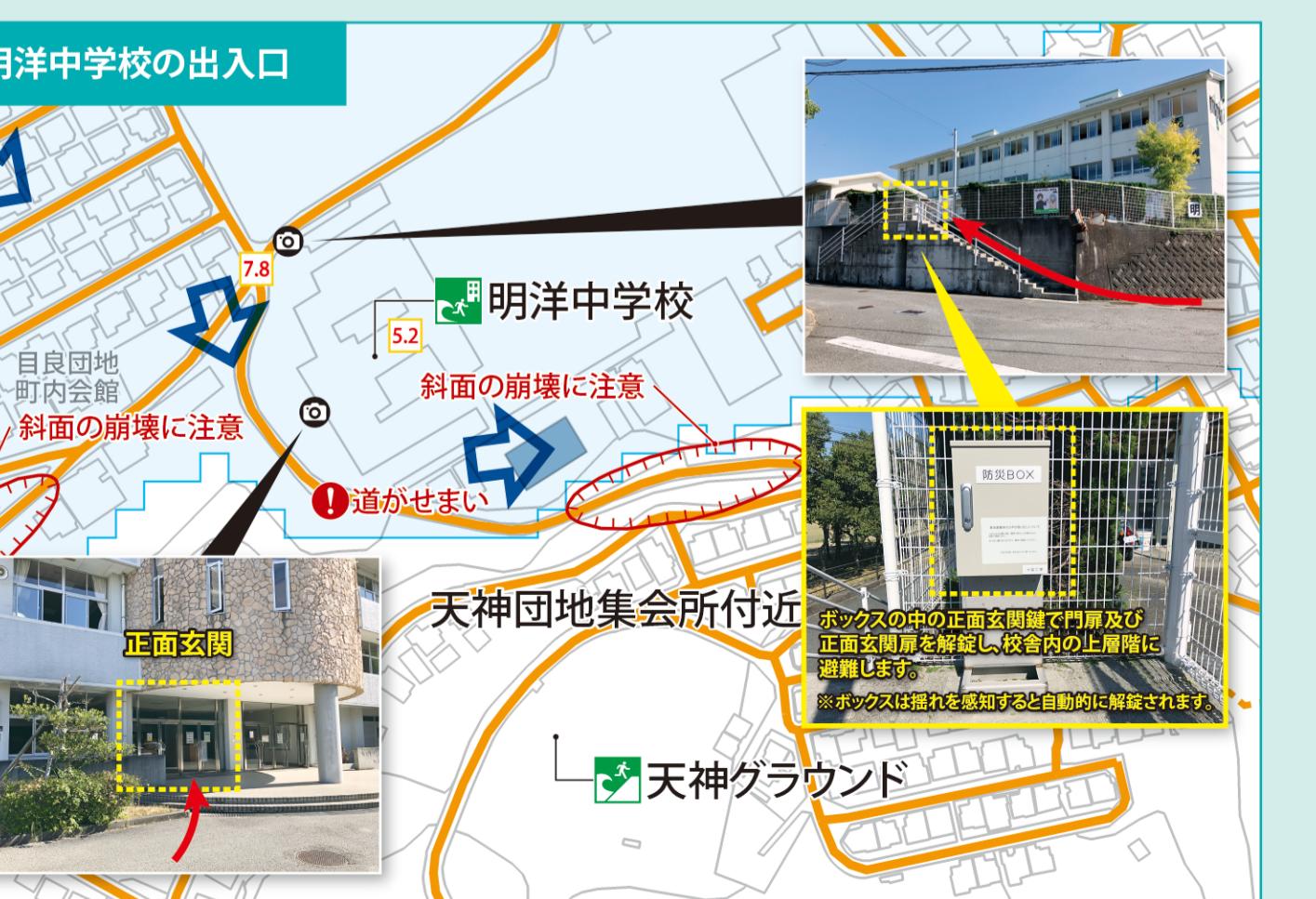
循環備蓄とは、備蓄食料・飲料水などの保存期限が切れる前に消費し、その分だけ新たに補充して常に一定量のストックがある状態を保つことをいいます。定期的に古い備蓄品から消費することで無駄を出さず、また、いざというときに期限切れで使えなくなることを防ぎましょう。

災害時の連絡方法・情報の入手先

災害時の連絡方法を家族で確認しておきましょう。また、田辺市の「防災・行政メール」を登録しておきましょう。

災害伝言ダイヤル	田辺市防災行政情報システム「防災・行政メール」
①電話用いて安否情報(伝言)の録音・再生を行うことができます。	電話用いて安否情報(伝言)の録音・再生を行うことができます。
②[登録方法]... ③[登録]ボタン	[登録]ボタン
④[再生]ボタン	[再生]ボタン
⑤[録音]ボタン	[録音]ボタン
⑥[被災地の方の電話番号を市外局番から登録]	被災地の方の電話番号を市外局番から登録
⑦[音声ガイダンス]ボタン	音声ガイダンスボタン
⑧[確認]ボタン	確認
⑨[登録用] URL▶ http://bousaiyousei.aamilkis.jp/	登録用 URL▶ http://bousaiyousei.aamilkis.jp/

目良・目良団地・シーサイド天神崎 地区における主な避難場所と避難経路



← 避難方向 ⓒ 写真撮影ポイント

↑ 避難方向 ⓒ 写真撮影ポイント

</